たのしむユニバーシティ通信
TANOSHIMU-UNIVERCITY COMMUNICATION
2017
第 003 号
発行所
川上塗装工業株式会社
盛岡市三ツ割 3-2-11
電話　019-601-4014

Main Theme

インターネットで動画増えたなぁと感じたら入学!
“ネットと連動した映像のパワー” 講座

映像でしか伝わらない パワーとは何か？

弊社は今年から採用等に関する企業PR映像の制作をはじめました。今回は制作者の高倉さんに、作った映像がどのように世の中に発信されるかを社員に知ってもらうために講座を依頼しました。

作品紹介として結婚式場や革製品（岩手革）のPR映像を鑑賞しました。作品の中で印象的だったのは映像とBGMや文章メッセージ、インタビューでした。見た人が、伝えたいイメージや想いをより具象的に受け取ることができ、興味を持ち「ここで結婚式を挙げたい」「この製品を使ってみたい」と思う気持ちになる作品でした。

映像は写真の5000倍の情報量があるとも言われます。写真が「瞬間」を切り取るのに対し、映像は「時間」を切り取ります。映像は画像が動き、音が聞こえることで、受け手が映像に入り込み、テレビのように疑似体験している気分になります。映像はその圧倒的な情報量で、発信側の意図を見る側に具象的に伝える事ができます。それが映像ならではの強みと言えます。

ひと昔前と比較し、スマートフォン等の普及により映像の使われ方が大きく変わってきました。ホームページのトップ画面に、映像が流れることが当たり前になりました。YouTube では簡単に「企業チャンネル」を作り、番組のようにで発信できるようになりました。SNSでは個人が不特定多数の人と良いと思うものをシェアする時代になりました。映像を作って終わりではなくSNSと連動して発信する事により、多くの人に情報を伝える機会が生まれるのです。パソコンやスマートフォンで当たり前のように映像を見る時代になった今だからこそ、映像を用いて企業PRをすることがとても効果的だと、より深く理解できました。高倉さんありがとうございました。

講師紹介

高倉 昌明　Masaaki Takakura

ウェディングシーンやテレビ局等の撮影を行う«ATvisual»代表。埼玉県ふじみ野市出身。
クリエイター系の学校を卒業後、映像関係の会社に就職し、デザインや映像制作を学ぶ。結婚を機に盛岡市に移住。サービス業や営業職を経て平成 25 年に独立。現在はホームページや SNS と連携した企業 PR の動画作成を新事業として展開中。

第 3 回
2017.8.18

自分から世界に向けて発信しよう！